

乳がん手術を受けられた皆様へ

乳がんの術後経過

・安心ブックレット



- ◆ これからの診察と検査予定
- ◆ 地域連携クリニカルパスを活用しましょう
- ◆ 受診記録-受診日の日記をつけましょう



©群馬県 ぐんまちゃん
00204-01

群馬県がん診療連携協議会

○ ○ ○ ○ 病院

私のプロフィール

氏名

生年月日

年

月

日

住所

電話番号

自宅: ()

携帯電話番号

本人: ()

メールアドレス

乳がんの術後経過・安心ブックレット

目次

	ページ
I ブックレットについて	3
II 地域連携クリニカルパスについて	4
III 乳がん地域連携パスについて	5
IV 乳がんの治療情報	7
V 乳がん術後のフォローアップ期間 検査項目と実施時期	9
VI 乳がん治療の目標	10
VII 自己検診のすすめ	11
VIII 乳がん術後経過 記録票	13



I ブックレットについて

このブックレットは、乳がんを手術された患者さんと、ご家族の方に、手術後の生活を安心して送っていただくための知識と活用してほしい仕組みをまとめたものです。

手術後の生活で注意していただきたいことや、一人一人の状況に合わせて外来通院し、定期検査を受ける必要性について、『乳癌治療ガイドライン(日本乳癌学会編)』に即して紹介しています。ご自分の状態や検査結果などを記入して、是非、活用してみましよう。

地域連携クリニカルパスは、乳がんが克服されたと考える術後 10 年目という節目に向けて、患者さんとご家族そして医療従事者と行政機関の全員が力を合わせていきます。

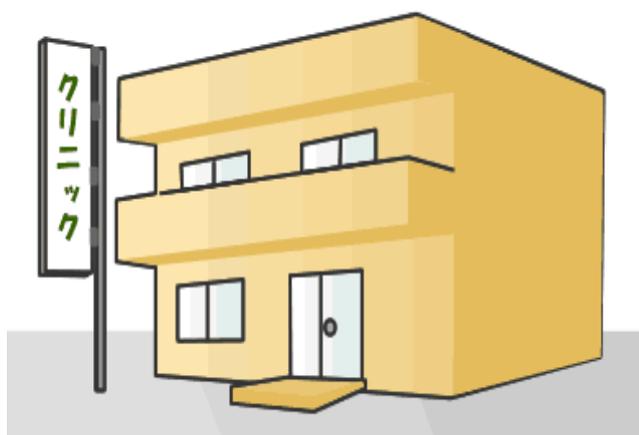
皆様が満足感ある治療をお受けになり、日々心安らかにお過ごししていただけるお手伝いになれば幸いです。

II 地域連携クリニカルパスについて

「地域連携」とは、患者さんを中心に、急性期病院と地域の医療機関（かかりつけ医）が情報交換と診療を行い、より良い医療と安全を提供する仕組みです。

専門的な検査や手術は、急性期病院が担当し、手術後の診療・血液検査などは、近隣の開業医が【かかりつけ医】となり、担当します。

急性期病院とかかりつけ医が地域連携クリニカルパス（地域連携計画書）を基に情報を共有しながら、協力して診療を行うシステムです。



III 乳がん地域連携パスについて

乳がん治療を受けられた方は、術後の乳房や胸壁の局所再発、頸部や鎖骨上リンパ節転移、対側乳房に新たな乳がんが発生すること、等があるため手術後10年間にわたり定期検査を受けることが望まれます。

また、術後にホルモン療法を受ける場合は、5年以上にわたって薬を飲むことが多く、薬剤そのものによる副作用や、女性ホルモンの変化に伴う体調の変動や、脂質代謝異常などが出る可能性があります。

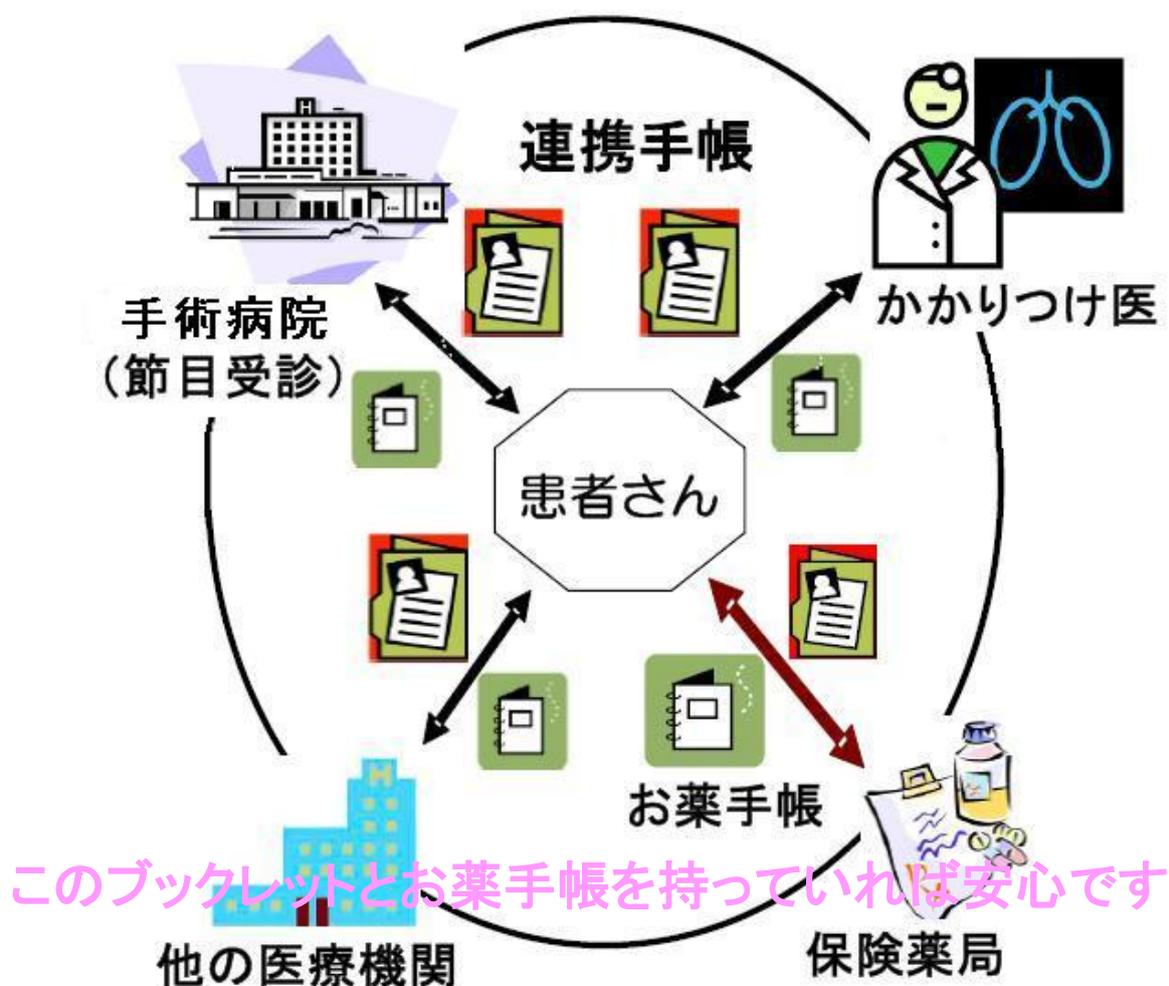
このように乳がん術後の治療や経過観察は、非常に長期間にわたって行われます。したがって、乳がんの診断や手術や薬物療法の選択は専門医が行いますが、それ以外の軽い副作用や体調の変動や脂質代謝異常などは、血圧が高いとか胃もたれなどと同じようにかかりつけ医で定期的に検査を行ってもらい、治療もしてもらいます。ホルモン療法もかかりつけ医で行ってもらおうと、専門医への通院回数を減らすことができるようになります。

ただし、原則的に1年に1回は手術をした急性期病院を受診し、専門医の診断を受けてください。また、かかりつけ医での診察の結果、精密検査が必要と判断

された場合は、その時点で、急性期病院を受診して頂くこととなります。

このブックレットをお持ちいただくと、それ以外の病院を受診された場合も、とても安心です。

ブックレット



IV 乳がんの治療情報

乳がん 左・右

月経状況 なし・あり

病期 T N M

Stage

術前治療 ◇ なし

◇ あり

【レジメン: 】

手術日 西暦 年 月 日

手術術式 ◇ 乳房温存術＋センチネルリンパ節生検

◇ 乳房温存術＋腋窩リンパ節郭清

◇ 乳房切除術＋センチネルリンパ節生検

◇ 乳房切除術＋腋窩リンパ節郭清

◇ 乳房再建術

その他

V 乳がん術後のフォローアップ期間 検査項目と実施時期

術後経過	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年
項目				
問診・診察	○	○	○	○
マンモグラフィ				○
血液検査 (腫瘍マーカー)	(○)	(○)	(○)	(○)
全身検索		(○)		(○)
乳腺エコー				(○)
骨密度				(○)
子宮体がん検診				(○)

* 原則として術後10年間はフォローアップ期間と
上記表に従い、繰り返し5年間続ける。

VI 乳がん治療の目標

1. 内服薬による副作用
(1) 不正出血・おりものがない
(2) 強い腰痛・ひどい関節痛がない
(3) 検査データの異常がない
2. 手術による合併症
(1) 上肢の浮腫・炎症がない
(2) 肩関節の運動障害・関節痛がない
3. 再発の有無
1) 局所所見(手術をした側の乳房とわきの下)
(1) 腫瘍・硬結・発赤がない
(2) リンパ節腫大がない
2) 対側乳房(手術していない乳房)
(1) 腫瘍・硬結・発赤がない
3) 骨転移を疑う痛みがない
(1) 同じ部位の痛みが数日たっても消えない

Ⅶ 自己検診のすすめ

毎月1回、自己検診を行いましょう

どんな病気でも早期に発見して、早期に治療することが大切です。

特に乳房の異常は自分でも調べることができますから、手術を受けたこの機会に、毎月1回、日を決めて、手術側の点検を行い、皮膚の変化・しこり(硬結)や発赤などがないかをチェックします。

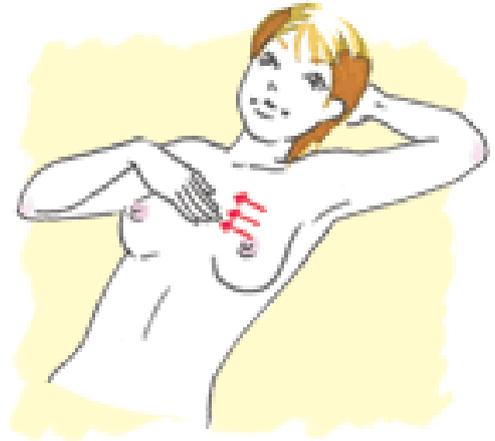
また、手術をしていない側の乳房の自己検診も続けるようにし、乳房を触ってみてしこりがないか、乳首からの分泌物や皮膚の変化がないか、よく調べてください。

気になるところがあったら、医師に相談して下さい。

<自己検診の方法>

1.

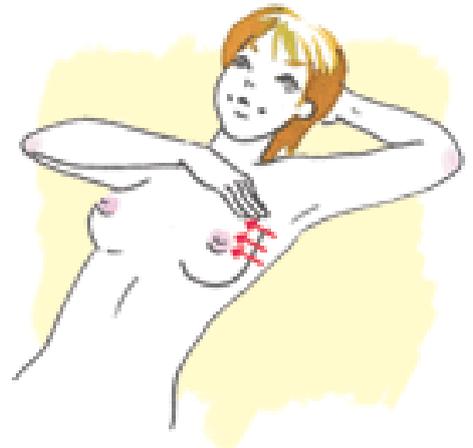
右手を左乳房の乳首よりも内側にのせ、指の腹を胸の中央部に向かって柔らかく、しっかり滑らせ、しこりの有無をまんべんなく調べます。



(内側からさわります)

2.

同じ姿勢のまま、乳房の外側の部分を外から内に向かって、柔らかく、しっかりと指を滑らせて調べます。



(外側をさわります)

★右乳房も同様の方法で調べます。

★鏡の前に立って、乳房の形や大きさ、皮膚のへこみやひきつれ、乳首のへこみやただれなどがいないかチェックしましょう。

発行 群馬県がん診療連携協議会
改訂版制作 ○○○○病院
連絡先 ○○○○病院
〒○○○-○○○○
群馬県○○市○○町○○-○○
TEL ○○○○—○○—○○○○
夜間・休日TEL ○○○○—○○—○○○○

.....
20○○年○月発行

初版監修 群馬大学医学部附属病院乳腺・内分泌外科 堀口 淳

本冊子の無断転載を禁じます。



©群馬県 ぐんまちゃん
00204-01